



# わくわく

## たより



四月は新年度の始まりですね。入社式や入学式と新しい場所で生活をスタートさせる方が多くいる季節です。

職場も新入社員が入り雰囲気もぐっと若返ったような気がします。

社会人4年生に仔る息子も、先月南相馬市から福島市に異動になりました。

入社してから4回目の引っ越しでしたが、やはり荷物が増え、捨てる物も多かったです。

これを機に、私も家の不要な物を処分しようと思いました。

それ、前にネットで「ゆる捨て」という片付け方法が載っていた事思い出しました。それは毎日15分だけ気になる場所のいらぬ物を捨てていくというやり方です。

時間が短い時は5分でもOKなので、まずは実行してみようと思います。

平成ももうすぐ終わるので、不要な物を捨て気持ちもスッキリさせて、

新元号に仔る5月から新たな気持ちでスタートできればと思います。



(売買：大友 幸子)

### ひとメモ

### 新生活を楽しく始めるために！

暖かい日が続いたかと思うと朝晩の冷え込みが厳しい日もあったり、春は日々の寒暖差が大きく、自律神経が乱れて体調を崩しがちです。さらに4月は、就職や転勤などで慣れない環境や新しい人間関係などで緊張や不安を感じる事が多い時期です。朝食をきちんと食べる、ぬるめのお風呂にゆっくりつかるなどすると乱れた自律神経を整えることができるそうです。体調をしっかり整えて、希望に胸が膨らむような楽しい新生活が始められたらいいですね！



# 3年連続 県内売上高

# No.1

株式会社  
いわき土地建物  
ご相談下さい フリーコールで No.1の不動産屋へ みんな行く  
0800-123-3719  
Free Call

### ひとくちメモ



### 県内公示地価

### 住宅地6年連続上昇

### 被災者需要は減少、伸び幅鈍化目立つ

国土交通省は、3月19日、1月1日時点の公示地価を発表しました。住宅地の県平均変動率は1.0%（全国6位、前年5位）で6年連続の上昇となりました。ただ、上昇幅は前年より0.4ポイント減少し、年々伸び幅の鈍化が目立っています。

市街地を中心に住宅地価格の高止まりが続く一方、人口減少や高齢化が進む町村部では下落傾向の強まりも懸念され、都市部との差が鮮明になっています。

県では、東日本大震災に伴う被災者の移転需要が落ち着き、さらに県内で進行する人口減少の影響が不動産市場にあらわれていると分析しています。

評価にあたった県不動産鑑定士協会・会長は、地価の状況について、「被災者需要がほぼなくなり、普通の状況に戻りつつあるというトレンドは変わっていない」とみています。

#### ■住宅地

住宅地1㎡あたりの県の平均価格は3万5100円で前年を400円上回りました。主要4市の平均価格は、郡山市5万3900円（前年比1000円増）、福島市4万6600円（同1200円増）、いわき市4万3400円（同500円増）、会津若松市3万3300円（同400円増）でした。いわき市内の最高価格は、「平字作町三丁目1の16」の7万9800円でした。

いわき市では、これまで高い上昇率を示していた平地区中心部の住宅地域やいわきニュータウンなどで供給物件の減少から取引件数が減り、地価は高止まりの状況です。

#### ■商業地

商業地の県平均変動率は0.8%で5年連続の上昇となりました。商業地1㎡あたりの県平均価格は6万5000円となり、前年を400円上回りました。

主要4市の平均価格は、郡山市11万1100円（前年比2000円増）、福島市7万7000円（同2700円増）、いわき市5万9500円（同600円増）、会津若松市が前年と同じ5万3900円でした。

いわき市は、JRいわき駅周辺のビジネスホテルの稼働率が依然震災前の水準を上回っています。

### 資金計画 | 自己資金 | 住宅ローン | 税金 | 建物状況調査 | 引越し

### これを読めば、不動産取引の基本的な流れが良くわかる！



### 『住まい探しのお悩み解決BOOK』

この度、土地・中古住宅の購入における基本的な流れや、不動産取引の様々な事について一冊の本にまとめてみました。これを読めば不動産取引の基本的な流れが良くお分かり頂けると思います。この冊子をご希望の方は小島北店までご連絡ください。

## 無料進呈中

フリーコールで No.1の不動産屋へ みんな行く  
0800-123-3719  
Free Call